

平成28年 第1回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成28年 第1回宮崎市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成28年1月29日（金） 14：45～15：30
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 【教育長・教育委員】
二見教育長、松野委員、藤元委員、崎田委員、畠山委員

【事務局】

二宮教育局長
（企画総務課） 時任課長、田實補佐、山本主幹
宮畑主幹、関本主査、佐藤主査、茂田主任主事
（学校施設課） 福島課長、片伯部補佐
（学校教育課） 松竹課長、湊補佐、岡留補佐
（教育情報研修センター） 江藤参事、牧野次長
（生涯学習課） 染矢課長、大賀補佐
（保健給食課） 山本課長
（文化財課） 日高課長、小窪補佐

5 議題

番 号	件 名	説 明 者
議案第1号	宮崎市立学校管理規則の一部改正について	学校教育課長
報告第1号	文化財審議会の報告について	文化財課長
報告第2号	臨時代理の報告について	学校教育課長

二見教育長

定刻になりましたので、本年最初となります平成28年第1回定例会を始めさせていただきます。

本日の傍聴者はありません。

会次第「2 会議録署名人の指名」です。資料1ページの「2 会議録署名人の指名」をご覧ください。今回は、私二見と、崎田委員にお願いいたします。

それでは、「3 教育長及び委員報告」に入ります。資料1ページの「3 教育長及び委員報告」をご覧ください。

(1) 教育長報告です。

1月14日と15日に富山市で行われました、平成27年度中核市教育長会第2回役員会及び臨時総会、第2回研修会についての報告です。

提出された議案、役員改選の時期と任期の変更について、感謝状贈呈規定による感謝状贈呈者については、提案どおり承認されました。

役員の任期については、特段の定めがなかったことから、2年とすることとなりました。また、富山市の現会長が会長職を辞職したい旨の提案があり、人選を行っていくこととなりました。新規プロジェクト会議の方向性については、中長期的なものとしていくこととしました。報告事項として、中央教育審議会初等教育分科会における関係団体ヒアリングの報告がありました。

第2回研修会においては、文部科学省大臣官房審議官の藤原彰夫氏から「初等中等教育改革に係る今後の方向性」についての講話がありました。藤原審議官に対して、「全国学力・学習状況調査について、見直しの声はないのでしょうか」との質問をしたところ、「一人一人の状況を把握する目的であり、現在のところ見直しについての議論はありません」との説明でした。心配だったのは、点数が一人歩きしているという心配をされましたが、今は順位が一人歩きしているということが懸念されますので、そのような質問をしました。何年かに一度ぐらいでいいのではないかという発言を試みましたが、先ほど紹介したようなご回答でした。

(2) 委員報告は特にありません。

各課長からの報告も特にありません。

なお、「平成27年度第2回宮崎市文化財審議会」の報告については、「議事の報告」の中で報告させていただきます。

委員の皆様で、先月の定例会以降の他の会議や行事について、感想や気づかれたことがございましたら、ご発言をお願いします。

総合教育会議については、「5 その他」の中で時間を取ろうと思っておりますので、それ以外で何かございましたらお願いします。

松野代表教育委員	<p>中学生との意見交換会の中で、「いじめ」と「いじり」という言葉が出ましたが、私は「いじり」という言葉は初めて聞きました。あれは「いじる」という動詞の名詞形だろうと思いますが、「もてあそぶ」とかいう言葉を充てるのだろうと思います。各学校で「いじめ」と「いじり」という言葉はよく使われるのでしょうか。</p>
二見教育長	<p>私は聞いたことがあります、皆さんはいかがですか。</p>
崎田委員	<p>子どもから聞きますね。</p>
畠山委員	<p>息子が高校時代の時に、「いじり」とかいう言葉を聞いたことがあります。</p>
藤元委員	<p>私も「いじり」は知りません。</p>
松野代表教育委員	<p>広辞苑を見ても、「いじる」はありますが、「いじり」という名詞形は載っていません。その広辞苑も古いものではあります。</p>
藤元委員	<p>雰囲気的に、発言の内容ではそういうことだろうと思って聞いていましたが、言葉自体は初めて聞きました。</p>
二見教育長	<p>子どもたちの間では、いじめよりもっと軽い感覚だという印象でした。</p>
畠山委員	<p>仲のいい間柄ではいいですけどね。少し違ってくるとそれがいじめになってしまうこともありますよね。</p>
松野代表教育委員	<p>あの中で、いじめかいじりか区別がつきにくいと言っていました、そうだろうと思います。冗談だと言われれば、それ以上は言えない。でも、教育長がいいことをおっしゃいました。ある学級で、「もうそろそろやめんね」と女生徒が言ったということはすごいと思いました。ああいうことが広がってほしい気がしました。</p>
崎田委員	<p>同じく中学生との意見交換会について、感想を述べさせていただきたいと思います。この会は、毎年中学2年生の生徒さんが集められています、どのお子さんも素晴らしい力を持っていらっしゃる、自分の頃と比べると本当に恥ずかしいなと思いつつも参加させていただいています。</p> <p>教育長からお話があったように、これから必要になってくる力というのは、瞬時にその場でまとめながら発言していく力がすごく大事になっていくのだろうなということを、文科省も発信していますので、そこが求められるのだなということ。それと、あのお子さんたちはリーダー的な役割を受けていらっしゃる、そういう機会も今までにもあったのかなと思います。今日の話題をそれぞれの学校に持ち帰ってお話ししてくださいというのがありましたが、それは大事で、どのお子さんにもそういう学ぶ機会があるといいなと思いつつも参加させていただきました。</p> <p>会を重ねるごとに、すごく会自体が深まっていて、いい意見交換ができていくなということを感じます。進行も今回はコーディネーター</p>

に入っていましたので、意見をお互いに出しやすかったのではないかなと思います。資料もいろいろ揃えていただいて、「教育委員は中学生から見て、何をしているんだろうと思うだろうな」と思っていました。とてもいい資料をつけていただき、会を進行していただいたと思っております。ありがとうございました。

藤元委員

私も、もう何度目かになりますが、いつも成績優秀な子たちが来るので抵抗がありますが、一度言いたいなと思っていたのは、逆に私たちが行って、その学校の多くの方とお話するというのもいいかなというも考えています。学校から生徒会の優秀な人材が集まるよりも、我々が行って、ひとつの学校の各クラス10人ずつ、3クラスあれば30人ずつぐらいでお話することもたまにはいいのかなと思っています。いつかは言いたいと思っていたので感想として言わせていただきます。来られる子は、毎回、素晴らしい人材に育つだろうなという優秀な子だと思います。

畠山委員

私は初めて参加させていただきましたが、藤元委員がおっしゃいましたように、優秀な生徒さんのまじめな発言というのが、全体の印象です。最初に教育長が子どもたちに投げかけられた、反抗期についての導入の辺りの話が大変おもしろくて、成長段階では必ず反抗期が訪れるのが必要なことだと思います。ずっといい子を演じていると、どこかでいろいろな問題も起きてくるのではないかなと、優等生なりの苦しさもあるのではないかなと思いつながりながら聞いていました。大したものだなと、宮崎の子たち、この子たちの将来、いろいろな場面で名前が出てくるのではないかなという生徒さんでしたので、楽しみに聞かせていただいたところでした。

私も自分の職業柄、いろいろな学校を回らせていただきますが、道徳の時間が大変重要になってくると思います。最近思うのは、音楽と道徳を何かつなげられないかなと思っています。歌詞の中に心が温かくなるような言葉がたくさん含まれていますので、それを歌いながら、ハーモニーを奏でながら、心が温かくなる時間があると、もっと道徳が活かされてくるのではないかと感じているところです。

今回、意見交換会でいい経験をさせていただいて感謝しております。ありがとうございます。

二見教育長

去年から原稿なしで、ある程度テーマを示していますが、反抗期のテーマは言っていませんでしたが、よく手が挙がるなと思ったのと、おそらく準備していたら優等生の回答だったと思うけど、自分の言葉で喋れたと言った子の言葉がありがたかったなと思いました。

以上で、教育長及び委員報告を終わります。続いて、「4 議事」に入ります。

本日は、議案が1件、報告が2件となっております。「4 議事 議案」と印字された資料の表紙裏1ページをご覧ください。

議案第1号 宮崎市立学校管理規則の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

松竹学校教育課長

宮崎市立学校管理規則の一部を改正する規則を次のように定めることを提案いたします。

改正内容は、学校に置く主任等に関する内容で、大きく2点でございます。資料3ページの別紙1の新旧対照表をご覧ください。

まず、1点目の改正は、第46条の2中及び第46条の3中のそれぞれの文末を、「置くことができる」から「置くものとする」に改めるものです。

第46条の2は、道徳推進教師に関する内容であります。すでに平成21年度から管理規則に位置付けているものですが、昨年7月に改訂された「道徳科」の学習指導要領の趣旨を踏まえて、より一層の道徳教育の推進を図るために、必置化を明確にするものであります。この道徳推進教師の役割としましては、各学校において、指導計画の作成、道徳の時間の充実と指導体制の工夫、教材の整備・充実、家庭や社会との連携など、学校が組織体として一体となって道徳教育を推進するための役割を担うものであります。

同様に、第46条の3につきましては、特別支援教育コーディネーターに関する内容であります。こちらもすでに管理規則に示している役割で、すべての学校で配置していただいております。現在の特別支援教育の果たす重要性を鑑み、必置化を明確にするものであります。この特別支援教育コーディネーターとは、各学校における特別支援教育推進のために、主に、校内委員会、校内研修の企画・運営、関係機関との連絡調整、保護者からの相談窓口などの役割を担うものでございます。

次に、2点目の改正としまして、第46条の8として、「学力向上・授業改善推進リーダー」という新たな担当者に関する条項を追加するものでございます。規則の条文につきましては、3ページに記載しているとおりであります。詳細につきましては、4ページの別紙2をご覧ください。

本担当者を配置する目的としましては、学力向上と授業改善に関する取組を学校全体で組織的に推進することにより、児童生徒の確かな学力の向上を図ることを目指すものでございます。担当者の役割としましては、3にお示ししていますように、校内の学力向上・授業改善に関する計画・立案、指導体制の整備などの取組全般に関することを担うものでございます。

今後のスケジュールとしまして、本担当者新設の趣旨について、校長会において周知を図り、その後、平成28年4月1日から、本規則を施行する計画でございます。

提案は、以上でございます。

二見教育長

ただいま提案のありました議案第1号について、ご質問はございませんでしょうか。

藤元委員

学力向上・授業改善推進リーダーという方が各学校にいらっしゃるということになりますよね。今でも大体いらっしゃるのですか。

松竹学校教育課長

この名称では各学校にはいらっしゃいません。ただ、研究主任が学力向上の担当を兼ねたり、教務部の中に学力向上に関する役職を位置づけたりと、各学校で工夫をいただいているところもあります。今回、市として管理職からのトップダウンではなく、組織の中でボトムアップ的に学力向上について、企画立案、推進をしていただきたいという趣旨を込めて、推進リーダーを配置したいと考えております。

藤元委員	推進リーダーの皆さんのネットワークなども考えていらっしゃるのですか。
松竹学校教育長	4の研修のところにお示ししておりますが、リーダーの方を一同に早い段階で5月を目処にお集まりいただいて、そういう意味でのネットワークも含めて研修を行いたいと考えております。
二見教育長	他にございませんか。
委員	なし
二見教育長	他にないようですので、議案第1号 宮崎市立学校管理規則の一部改正について、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし
二見教育長	ありがとうございます。議案第1号は承認されました。 続きまして、報告第1号 平成27年度第2回宮崎市文化財審議会の報告について、事務局から説明をお願いします。
日高文化財課長	報告2ページをご覧ください。報告第1号 平成27年度第2回宮崎市文化財審議会の報告についてでございます。 3ページに概要がございます。平成28年1月26日13時30分より、宮崎市教育情報研修センターにおいて、平成27年度第2回宮崎市文化財審議会を、宮崎市文化財審議員12名、文化財課長以下7名で開催いたしました。 協議内容につきましては、高屋神社神楽の文化財指定について、審議を行いました。審議員全員の同意により、文化財指定の答申を行うことが決定いたしました。内容につきましては、次回の教育委員会に議案として提出の予定でございます。また、併せまして平成27年度文化財課事業についての説明を行いました。 報告は以上でございます。
二見教育長	ただいま説明のありました、報告第1号についてご質問はございませんか。
委員	なし
二見教育長	それでは報告第2号 臨時代理の報告については、人事案件となりますので、非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし
二見教育長	それでは、ただいまより、非公開といたします。 《 非公開 》
二見教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。

	<p>それでは、本日、報告のありました非公開以外の報告内容について、我々5名で意見交換したいことはございますか。</p>
委員	なし
二見教育長	<p>それでは、続きまして、「5 その他」に移りますが、委員の皆さまから、情報提供等がありましたらお願いいたします。</p>
委員	なし
二見教育長	<p>それでは、先日行われました、第2回宮崎市総合教育会議について、事務局から説明があるようですのでお願いします。</p>
時任企画総務課長	<p>先週開催いたしました、総合教育会議はお疲れさまでございました。市長からたくさん意見が出ていい会議だったというお言葉をいただいております。</p> <p>この総合教育会議の会議録につきましては、現在作成中でございますので、2月中旬頃になろうかと思いますが、市のホームページで公開したいと考えております。なお、協議事項にありました、教育大綱の策定につきましては、総合教育会議におきまして調整がついたということで、市長から提示のあった案のとおりにより決裁をいただきました。これで大綱が策定されたということになります。</p> <p>この大綱につきましては、現在はまだ公開の状態ではありません。作業としては、今週の月曜日に、議会の正副議長に報告をいたしました。そして、来週2月4日の定例市長記者発表の日に市長が発表し、これにより公表ということになり、12時頃に市のホームページに掲載したいと考えております。</p> <p>説明は以上です。</p>
二見教育長	<p>事務局から説明がありましたが、委員の皆さまからご意見、ご感想などありましたら、お願いいたします。</p>
松野代表教育委員	<p>あの場でも申し上げたかと思いますが、第四次宮崎市総合計画後期基本計画に則った、教育部門の大綱であるという明確な説明もございましたし、総合計画の理念が、大綱のこの部分だという指摘もなされましたので、大変わかりやすかったと思っております。</p> <p>あとは、これが本当に機能するように、私どもとして、いろいろな知恵を出しながら推進していく必要があるだろうという感想を持ちました。以上です。</p>
二見教育長	<p>せっかくですので、一言ずつ感想や意見をいただきましょうか。</p>
崎田委員	<p>今年度に入り、総合教育会議が始まりましたが、以前も市長とは意見交換をさせていただいていましたが、それでもこの会議に臨むということは、非常に緊張感が今まで以上にありました。2回目を終えましたが、本音を言えば始まるまでは逃げ出したいような不安な気持ちが大きく、それでも法の下に招集された会議であるということ、公開されるということもあって、襟を正す重責を担う会議で、それに参加させていただいているという緊張感があります。会議を終えるという</p>

いる話ができよかったなと思える会議なので、今までの市長のお考えや思いというものと、教育委員会との連携がうまく取れているのではないかと思います。

松野代表教育委員もおっしゃったように、市の計画と委員会としての教育ビジョンとがうまく整備された中に、ただ意見があって、「いいですね」と進むだけではなく、きちっとその枠組みがあって、示されての会議なので、意味のあることなのだろうと思います。これから先、次年度に向けて大綱をどう見ていくのかということ、これから私たちが誠心誠意頑張っていかなければいけないと考えたところです。総合教育会議の位置づけとして、いじめ等の重大な事件が起こったときの会議などもありますが、それを開催しなくても済むよう、それまでに十分な連携を取りながら、子どもたちの教育を中心に進める必要があるのかなと思いました。

畠山委員

初めてのことばかりですが、宮崎に住んでいる私たちにとって、これほど皆さんが真剣に、よりよくいろいろなことを解決しながら、宮崎を輝くまちにしていこうという取組が、市長の言葉や文面から感じられて、改めて宮崎市を誇りに思いました。この大綱が、関係部局の方々と連携を図りながら実現していけることを期待しながら、私もその中に入らせていただいて、できる限りのことをその中の一人として取り組んでいきたい。私もみやざきっ子なのだという気持ちで会議に参加させていただきました。

また、これからの取組がどのように展開されていくかを非常に楽しみにしているところです。

藤元委員

教育大綱については、事前にいろいろと意見交換をしたものが、課長のご努力のおかげか、非常に刷り込まれていて、大綱の内容説明をされた後、市長の思いを語られるという、二重の報告がありましたので、非常にわかりやすかったです。

また、いじめについていろいろと討論をしました。前は不登校でしたし、同じような雰囲気ですが、回を重ねるに従って、市長と会話をすることに抵抗がなくなるというか、共有するものが出てきつつあるのかなと思いました。何でも言えるような雰囲気ができてきて、確かにいい方向で「こんなこともいいんじゃないですか」というふうに立ち話ができるような関係になっていくことも、すごく大切なことかと思えます。この会議を重ねていくことが、この教育委員会にとっても、子どもたちにとっても、予算がついて施策として具体化され、よりたくさんの方の意見の中で生まれてくるということがいいのではないかと思います。

二見教育長

会議の時間が決まっていますので、シナリオのようなものも準備しておかなければいけませんでしたが、市長の思いとしては自由に率直な意見交換をしたいということでした。時間もあんなに伸びるとは思いませんでしたが、それぐらい本音で語り合う場にしてほしいということが、説明に行った時の言葉だったようです。随分と意見を出してもらえて、私たちもほっとしたところです。

せっかくの法の下での会議ですので、私たちも伝えたいことは伝えなければいけないし、市長の思いも受け止めなければいけない、大事な会だと思ったところです。ご協力ありがとうございました。

二見教育長	それでは、「6 次回委員会の決定」について、事務局から説明をお願いします。
時任企画総務課長	次回定例会は、平成28年2月17日（水）午後1時30分から、教育委員会室で開催することをご提案いたします。
二見教育長	提案のありました日時で、次回定例会を開催してよろしいでしょうか。
委員	異議なし
二見教育長	続きまして、資料2ページをご覧ください。「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
時任企画総務課長	（説明）
二見教育長	以上をもちまして、平成28年第1回定例会を終了させていただきます。

平成28年

第1回宮崎市教育委員会（定例会）会議録

【署名】

教育長 _____

委員 _____